

TAKATSUKI

第110号
令和5年9月

★農委だより

編集・発行
高槻市農業委員会
〒569-0067
大阪府高槻市桃園町2番1号
TEL 072-674-7421
<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/>

7月20日の臨時総会で 新会長に森本茂氏を全会一致で選任



森本茂 新会長

就任のご挨拶

私は、このたびの農業委員の改選に伴い、7月20日に開催されました農業委員会臨時総会におきまして、会長に選任されました。

伝統のある高槻市農業委員会の会長という重責を拝命し、まさに身の引き締まる思いでございます。

さて、本市農業委員会におきましては、農地法等にもとづく各種審議に

加え、農地の利用集積、遊休農地の解消、新規就農者の育成、農地の利用最適化などの業務を担っており、また、農業者の公的代表機関として、地域の農業及び農地に関する事項について、市への建議を行うなど、農業政策が進むべき方向に導き、これを実現するために活動しております。

近年、農業従事者の高齢化や後継者不足などによる遊休農地の増加に加え、コロナ禍や、台風など脅威を増している自然災害、また世界情勢の変化に伴う生産資材価格の高騰など、農業者にとって非常に厳しい状況が続いております。

高槻市農業委員会は、農業者に寄り添った組織であるとともに、農地の適正な管理、農業の担い手の育成等に取り組み、遊休農地の解消、持続可能な都市農業の実現という課題に取り組んで参りたいと思っております。

持続可能な都市農業のため

会長のご挨拶

高槻市農業委員会は、農業

私自身、会長の職責を全力で果たしていく所存であります。高槻市農業委員会の円滑な運営と、今後の高槻市の農業の発展のためには、皆様のご協力が必要不可欠となりますので、ご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

農業委員会の活動

令和5年7月～9月

- 7月 第7回定例会・第7回常任会議
臨時総会（農業委員任命式・農地利用最適化推進委員委嘱式）
三島地区農業委員会連合会臨時総会
- 8月 第8回定例会・第8回常任会議
- 9月 第9回定例会・第9回常任会議



新委員による初総会

農業委員



副会長
藤井 博
(富田町六丁目)

高槻市の都市型農業において、高齢化や後継者不足による遊休農地の増加を考え、農地利用最適化推進委員とともに取り組んでまいります。

農業委員、推進委員が改選
任期は令和5年7月から3年間
よろしくお願いたします

7月20日、農業委員会臨時総会が開催され、市長から14名の農業委員が任命されました。また同日に、農地利用最適化推進委員7名が農業委員会から委嘱されました。任期はともに令和8年7月19日までの3年間です。

臨時総会では役員を選任が行われ、会長には森本茂委員、副会長には藤井博委員、常任委員には上田佳正委員、下村正人委員、高谷敏宜委員、橋本吾睦委員がそれぞれ選出されました。今号では、就任にあたっての意気込みとともに各委員をご紹介します。(敬称略・役員を除き五十音順)



会長
森本 茂
(道鶴町二丁目)

都市農業のあるべき姿を思考し農業者の高齢化・担い手不足、耕作放棄地等の諸課題に対応し、地域の実情を踏まえた農地保全に取り組んでまいります。



常任委員
橋本 吾睦
(芝生町一丁目)

高槻市の農業環境においては、高齢化に伴い耕作放棄地、遊休農地の増加を考え、農地利用最適化推進委員とともに、地域の活性化に取り組んでまいります。



常任委員
高谷 敏宜
(塚脇一丁目)

高槻市の農業の発展のため、都市型農業の創造、遊休農地の解消と新規就農の支援に積極的に取り組んでまいります。



常任委員
下村 正人
(郡家本町)

都市化の中での各地域の実情に即した農地・農業対策に取り組み、農業生産を取り巻く様々な営農環境問題を改善できるよう努めてまいります。



常任委員
上田 佳正
(唐崎中四丁目)

就農者の高齢化や青年層の就農離れという現状を踏まえ、地域農業に合った農業経営の形態を模索してまいります。



田中 徹
(梶原五丁目)

高槻市の農業形態としては、定年退職後に農業に力を注ぐ方が大多数ですが、若いうちから農業で生計が建てられる方法を模索してまいります。



岸田 英雄
(大字原)

農業従事者の高齢化と後継者不足による耕作放棄地や遊休農地の増加に伴う問題と、兼業農家の耕作環境を改善できるよう取り組んでまいります。



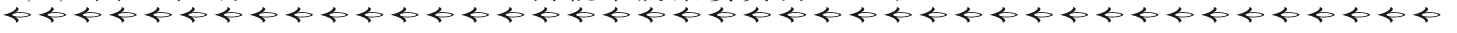
岩 為 俊
(成合中の町)

遊休農地対策や農地利用の集積、新規就農の促進など農業委員の役割は重要です。全力で本市農業の振興・発展に取り組んでまいります。



荒木 昭三
(大字川久保)

農業従事者の高齢化と後継者不足による耕作放棄地及び遊休農地発生防止解消など、農業振興の発展に積極的に取り組んでまいります。



渡邊 美広
(大字出灰)

高齢化や担い手不足による遊休農地の拡大に対して、新規就農の促進をはかるなど、多様な問題に取り組んでまいります。



向井 俊夫
(土室町)

農業従事者の高齢化及び後継者不足により耕作放棄地、遊休農地が増加している状況を踏まえ、農地の保全・農業振興に取り組んでまいります。



中村 玲子
(古曽部町二丁目)

都市農業の地産地消を活かし、農家と消費者が直接つながる仕組みづくりなどの取り組みで農業を守り、農地を残すためにがんばってまいります。



辻崎 義次
(本町)

都市農業は、担い手の高齢化や後継者不足等の課題がありますが、活力ある農業を築くための農業振興に寄与し、次世代への継承に取り組んでまいります。



第4区域(五領)
長谷川 剛
(梶原一丁目)

後継者不足や高齢化等様々な事情から遊休農地・耕作放棄地が増えていますが、農業委員と共に 発生防止および解消に取り組んでまいります。



第3区域(磐手・芥川)
土井 一弘
(古曽部町二丁目)

農業従事者の高齢化に伴い、増加する耕作放棄地の発生防止、新規参入の促進等、地区の実行組合長、農業委員と共に取り組んでまいります。



第2区域(清水)
石田 和義
(大字原)

遊休農地や耕作放棄地が増加してきていますが、少しでも改善できるように取り組んでまいります。



第1区域(櫻田)
畑 秀春
(大字中畑)

人間の命の源である農業・農村の問題は深刻です。しかし、いつしか大きな恵みをもたらす事柄へと変換される。そういう希望を持ち、努力を続けてまいります。

農地利用最適化推進委員

退任された

農業委員・推進委員の皆さま
【敬称略・五十音順】

(農業委員)

- 阪口 和義 (梶原一丁目)
 - 辻本 豊廣 (唐崎中二丁目)
 - 堤 勇 (郡家本町)
 - 灰垣 和美 (大冠町三丁目)
 - 橋長 重治 (東天川三丁目)
 - 橋長 俊彦 (東天川二丁目)
 - 藪内 周 (大字原)
 - 山本 正義 (奈佐原元町)
- (推進委員)
- 植田 信夫 (富田町四丁目)
 - 門川 進 (大塚町二丁目)
 - 木下 仁志 (道鶴町五丁目)
 - 谷口 幸隆 (柱本三丁目)



第7区域(三箇牧)
和田 康之
(唐崎中三丁目)

農業委員や各地区の実行組合長と共に、遊休農地の防止や農地の有効活用、農業後継者の育成等の各種農業課題に取り組んでまいります。



第6区域(大冠・如是)
吉田 隆
(東天川一丁目)

農地等の利用の最適化の推進を積極的に図るため、事務局経験を活かし、地域の農業委員の方々と連携して活動していきたいと思っております。



第5区域(阿武野・富田)
田中 徳藏
(奈佐原元町)

高齢化及び後継者不足による遊休農地が増加している状態ですが、本市農業の活性化のため、若年層に呼びかけるとともに、農業協力者及び後継者の育成に取り組んでまいります。

Photo News

小学生たちに田植えの指導を行う地元農業者



地域の小学生たちが学習田で田植え

市内の小学生たちが総合的な学習として、5月から6月にかけて各地で田植えを行いました。この取り組みは春には田植え、秋には稲刈りなどを子どもたちが体験することにより、農業や自然環境の保全の重要性を身近に感じてもらうために行っているもので、地元実行組合をはじめ、多くの方々の協力により成り立っています。

子どもたちは泥に足を取られるなど、悪戦苦闘しながらも地域の農業者の指導のもと丁寧に苗を植え、楽しみながら農業の大切さを学び、米作りに対する関心を深めていきました。

なにわの伝統野菜

はっとりしろうり 服部越瓜品評会の開催

7月21日にJAたかつき清水支店で服部越瓜の品評会が開催されました。

服部越瓜は高槻市の塚脇、宮之川原、浦堂を中心に古くから栽培され、「なにわの伝統野菜」にも認証されている野菜で、主に粕漬けなどに利用されています。



品評会の様子

当日は6品が出品され、優秀賞には平田春生さん、優良賞には山本安男さんと森本秀次さんがそれぞれ選ばれました。

人事異動のお知らせ

事務局

- ★転入 ※8月1日付
参事兼次長 永井 和宏 (水道部次長兼技術管理者から)
- ★転出 ※8月1日付
次長 松浦 哲也 (市民生活環境部市民課課長へ)

農林緑政課

- ★転入 ※8月1日付
主任 久本 直 (地域教育青少年課主任から)
- ★転出 ※8月1日付
植田 郁哉 (市民生活環境部清掃業務課へ)

農業振興団体協議会が即売会 安満遺跡公園で開催

夏の農産物即売会が7月8日に安満遺跡公園で開催されました。この催しは、地産地消の推進に繋げようと市内各地で地元産農産物を販売している農業振興団体協議会などが主催し、夏野菜を中心に新鮮で安全・安心な野菜や花などを即売しています。

この日も多くの農家の方が出店し、開始前の朝早くから多くの方が訪れるなど、にぎわいを見せました。来場者は地元高槻の旬の野菜や米などを求め、大盛況となりました。



即売会に出店する渡邊委員

まもなく終了! 販売農家物価高騰対策支援事業

販売農家物価高騰対策支援事業の受付は9月15日までとなっております。詳しくは高槻市農林緑政課 支援金担当まで。(電話:072-674-7402)